

いまい小児科クリニック 所長 今井博之

(注) この文章には、政府見解とは異なった内容が多く含まれております。今井所長が入手できる海外からの最新報告をもとに、できるだけ正確に、重要な情報をお届けすることを目的としておりますが、時には所長の主観もまじえて書いておりますことを御了承ください。

新型コロナウイルス (COVID19) の感染拡大が、世界的に重要な局面を迎えています。エピデミック (局地的な流行) で収束するのか、パンデミック (世界的大流行) に発展するのか。日本政府は、3月2日から春休みに入るまで全国全ての小・中・高校などを臨時休校するよう要請しました。すなわち、新型コロナウイルスが日本国内に持ち込まれないようにする、あるいは、たとえ持ち込まれたとしてもそれ以上の感染の拡大を防ぐという「水ぎわ対策」は既に破綻し、国内での感染拡大は避けられないという局面に至ったということです。

したがって今後は、感染拡大の勾配が急峻なものにならないよう、できるだけ拡大速度を遅くする目標に変更したということです。でも、ひょっとして、このまま感染拡大が収まってくれば・・・？と、一縷の望みをかけているのかも知れません。

当然のことながら、今回の新型コロナウイルス感染症が、自分たちの子どもにどのようなリスクがあるのかが、一番気がかりだろうと思いますので、まず、その情報からお伝えします。

## ● 子どもはかかりにくく、かかっても重症化しない。

2月11日までに中国国内の新型コロナウイルス感染者は、7万人を超え、そのうちの検査で診断が確定された約4万5千人分の臨床データが公表されました (中国CDC週報 2020年2月21日)。

7万2千人以上の感染者のうち、20歳未満の小児・若年者は、全体の約2%未満に過ぎず、死者も10歳代の1名だけで、死亡率は0.1%未満でした。子どもは感染しても症状が出ないか、出ても軽症でとどまることが多いといえます。

年齢	患者数	(全体に占める%)	死亡数	死亡率
0 - 9歳	416人	(0.9%)	0人	0%
10 - 19歳	549人	(1.2%)	1人	0.2%
20歳以下	965人	(2.1%)	1人	0.1%

成人を含めた全体の死亡率は2.3%で、男性が2.8%、女性が1.7%と、男性の死亡率が高いことが特徴です。50歳以上になると100人に1人以上の死亡率となりますので、怖いです。職業別の死亡率も公表されており、下記の通りです。

年齢	患者数	(全体に占める%)	死亡数	死亡率
20歳代	3,619人	(0.7%)	7人	0.2%
30歳代	7,600人	(1.8%)	18人	0.2%
40歳代	8,571人	(3.7%)	38人	0.4%
50歳代	10,008人	(12.7%)	130人	1.3%
60歳代	8,583人	(30.2%)	309人	3.6%
70歳代	3,918人	(30.5%)	312人	8.0%
80歳以上	1,408人	(20.3%)	208人	14.8%
サービス業	3,449人	(7.7%)	23人	0.7%
農民・労働者	9,811人	(22.0%)	139人	1.4%
医療従事者	1,716人	(3.8%)	5人	0.3%
退職者	9,193人	(20.6%)	472人	5.1%
その他	20,503人	(15.9%)	384人	1.9%

中国では流行が拡大し、患者数が増える一方で、月日の経過とともに死亡率はどんどん低下する傾向があります (死亡率: 1月初旬 15% → 2月初旬 0.8%)。